

骨密度検査留意事項(依頼医師向け)

検査をご依頼いただく際は、下記の内容をご確認ください。
(末尾にチェックリストがありますので、ご活用ください)

1. 放射線被ばくについて

骨密度検査ではX線を使用しますので、放射線被ばくによる発がんリスクよりも診療上の利益が大きいのと考えられるかどうか、十分検討ください。また、放射線被ばくによる発がんリスクと診療上のリスクを比較した検査の必要性を患者さんに説明してください。

2. 診療情報提供書について

診療情報提供書にある撮影希望部位を選択してください。

検査部位にインプラント（金属）がある場合は、検査することが出来ません。

インプラントがある場合、部位（左右）などを明記してください。

- ・股関節のインプラントの有無（両側インプラント有は、測定不可能です）
- ・腰椎インプラントの有無（2健常椎体あれば測定可能です）
- ・腰椎と股関節ともにインプラントがある場合は、前腕にて測定を行います。

3. 骨密度検査に関する確認事項について

- ・妊娠中または妊娠の可能性がある場合は、検査をお受けできないことがあります。
- ・1週間以内にバリウム検査または核医学検査を受けたことがある方は、正確な結果が出ないため、日程の調節をお願いします。
- ・持続血糖測定センサー（リブレ等）は取り外していただきますので、あらかじめ処方された医療機関へお問い合わせください。

確認事項

- 1. 本検査は放射線被ばくがあること、期待される診療上の利益が放射線被ばくに伴うリスクを上回りこの検査が必要であることを説明した。
- 2. 妊娠中または妊娠の可能性がない。
- 3. 股関節および腰椎のインプラントの有無を確認した。
- 4. 20分程度の安静臥床に問題がない。